

第8回 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会 議事要旨

開催日時	2022年9月20日（火） 9:32～11:23	
開催場所	町田市立南第二小学校 3階 コンピューター室	
出席者 (敬称略)	委員	尾上委員、緑川委員、井伊委員、戸木田委員、柴田委員、福土委員、 中村委員、沖委員、赤澤委員、小室委員、○隅田委員、山本委員、 ◎木下委員、木原委員（◎会長 ○副会長）
	事務局	教育総務課、新たな学校づくり推進課、施設課、学務課、保健給食課、指導 課、教育センター
傍聴者	1名	

議事内容

1 第7回基本計画検討会の振り返りについて

新たな学校推進課 （資料1 説明）

2 南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）について

新たな学校推進課 （資料2-1～2-2 説明）

2022年1月に設置した本検討会の委員の皆様からいただいたご意見などを南成瀬地区新たな学校づくり基本計画検討会報告書（案）という形でまとめている。

この報告書の内容を踏まえ、教育委員会において学校統合に向けて必要となる具体的な検討・実施内容を記載する南成瀬地区新たな学校づくり基本計画を策定する。

また、2023年度以降は（仮称）南成瀬地区新たな学校づくり準備会を設置し、引き続き地域の方、保護者の方々と一緒に統合に向けた準備事項の検討と進捗状況に関してご報告をしてみたい。こちらの会の詳細等につきましては、改めて本検討会の中で説明をさせていただく。

3 通学の負担軽減について

新たな学校推進課 （資料3-1～3-4 説明）

資料3-1、項番1の(1)調査結果のまとめの評価項目については、路線バスをはじめとする公共交通機関を通学における利用が可能かどうかを評価するため、南成瀬地区だけではなくて全市的な共通の評価項目、考え方として設定するもの。①から⑤の全5項目。

評価項目の1つ目は、通学時間。児童の居住地から統合新設校まで、おおむね30分程度で通学が可能かどうかを評価する。南成瀬地区においては、2025年度から2027年度までは南成瀬小学校、2028年度以降は現在の南第二小学校の場所が通学先となるが、徒歩と路線バスを利用して、おおむね30分程度で通学が可能かどうかを確認している。

評価項目の2つ目は、路線バスの運行量。登下校時の通学時間帯、具体的には学校

に 8 時 10 分までに到着できる 7 時台のバスの運行間隔と 13 時から 19 時台の運行間隔について、極端に運行量が少ない路線でないかどうかを確認している。

評価項目の 3 つ目は、乗換の有無。バス等を乗り換えることなく 1 路線で学校への通学が可能かどうかを確認している。

評価項目の 4 つ目は、路線バスの利用状況。通学時間帯におけるバスの乗車率データを基に、児童の利用に際して大きな支障がないかどうかを確認している。

評価項目の 5 つ目は、学校近くのバス待ちの環境。学校近くの乗降場（バス停）がきちんと歩車分離がされているかどうかを確認している。

以上の 5 つの項目を、路線バスを利用した通学が可能であるか否かを判断するための評価項目とさせていただいて、調査を実施した。

これらの評価項目に照らして南成瀬地区の状況を確認した結果、南成瀬地区では路線バスを利用することが可能であると考えている。この調査結果の詳細につきまして、資料 3-2～3-4 にその内容をまとめているので、そちらをご覧ください。

ご説明した評価項目や評価の考え方については、今年度中に教育委員会で最終的に決定をする予定。次回の検討会では路線バスの通学における懸念等に対し、どのような対策を講じる必要があるのか、ワークショップ形式で議論をしたい。

会長

事務局から説明のとおり、次回 10 月の検討会では、路線バスによる通学における懸念等に対し、今後どのような対策を講じる必要があるのか、ワークショップ形式で委員の皆様と確認を行う。具体的な対応策について考えていただきたい。

委員

路線バスについては決定なのか。また、これは誰がいつ、どのように、どのような目的で調べたのか教えていただきたい。

次に、山村バス停は生け垣の途中にあるが、手前の広いスペースに移動してほしい。傘を差すなど降りた順にまっすぐ歩くというわけではないと思う。

他にも、これまでの議事でも質問をさせていただいたが、反映されていない。もし乗り遅れたらどうするのかなど保護者の不安などの意見も拾っていただきたい。

会長

大きく 3 点いただいたが、2・3 点目については、次回の検討会で、懸案事項について具体的な対策等をワークショップ形式でお話しするため、1 点目を中心に答えていただきたい。

新たな学校推進課

会長からもあったとおり、2・3 点目のご意見の部分について、次回ワークショップの中でお話をいただき、どのような対応がお互いにできるかということを考えていきたい。

1 点目の部分について、資料 3-1 の裏面の通学手段検討の考え方に記載のとおり、まず徒歩があり、次におおむね 30 分程度で通えない場合に何らかの配慮をする。その配慮として、まずは路線バスを使うことを考えている。路線バスを利用した場合でも 30 分程度で通えない場合、もしくは登校時のバスの乗車時間帯における運行本数を理由としてバスが使えないという場合に、それ以外の手段を考えるとこれまでも検討方針としてお示しさせていただいていた。

調査をして路線バスが使えるか判断をするという段階にいる。事務局としては路線バスを使うことが可能であると判断をしたところで、この先については、路線バスと徒歩で通学することを前提とした議論をさせていただきたい。

決定かというところに関しては、基本計画の中に、いただいたご意見や、事務局の方向性、判定項目等は載せる予定。来年度以降、具体的な人数の把握等を進めていく中で、路線バスでの通学が可能か決まっていく。

調査については、利用率等のデータ部分に関しては、バス事業者より頂戴してそれに基づいて行った。それ以外の現地の確認などの部分に関しては、事務局で調査した。データについては、今年の4月の中旬から下旬にかけて、平日の2週間程度を使った。1年間を通した中での利用動向は4月が一番多く出る時期のため、数字的には最大に近い数字と捉え、4月のデータを使った。現地確認については、4月以降、順次事務局のほうで実施した。

委員 バス通学について、南成瀬八丁目の保護者から意見をいただいている。次回にお伝えできる時間はあるのか。伝えてから検討を進めたい。

新たな学校推進課 次回検討会のワークショップでそのようなご意見も踏まえて議論をさせていただきたいと思う。

4 通学路の安全について

新たな学校推進課 (資料4-1～4-2 説明)

委員 通学路の安全対策について、今後の現地確認等のスケジュールは明確になっているか。

新たな学校推進課 今後、道路管理者や交通管理者と意見交換をした上で、よりもっと具体的に細かく絞っていくような形でやるのが効果的ではないかと考えている。意見交換を踏まえながら、必要に応じて現地確認を行いたい。

委員 南第二小の2年に1回の合同安全点検の資料等を今日持ってきている。学務課と連携を取って、ここを注意したいというところもすり合わせていきたい。

新たな学校推進課 連携しながら取り組んでいく。

5 南成瀬地区の新たな学校名の選定について

新たな学校推進課 (資料 5 説明)

会長 机上にある付箋の 1 枚目に、良いと思う学校名を 1 案書いていただき、その右下にご自身のお名前を書いていただきたい。もう 1 枚に、その学校名にした理由を書いていただきたい。

[ホワイトボード 付箋貼付]

- 会長 順番に 1 分程度で、選んだ校名と理由について説明をいただきたい。
- 委員 成瀬小学校が良いと思う。成瀬の地名と、駅の名前。一応、高校も成瀬高校があり分かりやすい面で、成瀬に決めた。
- 委員 地名で大体分かるような感じがいいと思い、成瀬さくら小学校を選んだ。
- 委員 私が選んだのは成瀬小学校。皆さんの意見募集の結果を踏まえて、一番多かったということは、地域の方や児童の意見も反映したい。地域で分かりやすく、南第二小、南成瀬小でもなく、成瀬という地域の名前が、争いにならないという点で、一番いいと判断した。
- 委員 私が選んだのは成瀬小学校。地名、駅名、あとは児童、保護者ともに 1 位だったこと。シンプルなほうが、中学校も同じ名前だったりするので、自分の出身が成瀬だというのが前面に出ていいと思う。
- 委員 私も成瀬小学校。地域名、成瀬地域というところで成瀬、歴史から考えても成瀬で間違いないなと思った。ほかの最寄りの施設も成瀬高校や成瀬駅とあるので、成瀬で間違いないと思っている。
- 委員 私も、成瀬高校で、地域が成瀬、成瀬駅、それから両校で争いが無いということで成瀬小学校にした。
- 委員 私は、さくら川小学校がよいと思う。理由は、学校名の意見募集に恩田川の川や桜も、子どもたちが書いたと思われる内容が入っていたのでさくら川小学校。あとは、計画地のそばに恩田川が流れていて桜が有名ということが次の推しとなった。
- 委員 私は南第二小学校にした。理由は、学校の所在地が変わらない、長い歴史があるので継承していきたい、地図や標識を変えずに済むというところからそう思う。
- 委員 私は学校を実際に子どもたちとつくっていくという立場で考えたときに、旧校名にまつわる言葉は、泣いて馬謖を斬るという思いであえて切った。そういう意味で恩田桜小学校を選択させていただいた。桜のイメージは、子どもたちのこれからの健やかな成長と相まっていいのではないかと思う。
- 委員 私は成瀬小学校にした。成瀬という名前が昔からの地名で、今の成瀬台、西成瀬、成瀬、南成瀬、この地域全体が成瀬だったことから、地域の名前として成瀬がいいのではないか。寺子屋の時代から学校制度に変わってできた名前が成瀬学校という経緯からも、始まりは成瀬だったと思う。町田市他の地域の方から大体の場所が分かってもらえるのではないか。

委員 学校統合を経験した人から、校名について旧校名という意見も出たが、結果的に新しい学校名になった。どちらの学校から来た子も対等で、新しい学校を自分たちが作っていくというような気持ちになったという話が印象に残っている。子どもたちから出た全く新しい名前にしようと思い、さくら小学校を選んだ。また、平仮名の学校が町田にはないというのも、覚えてもらえていいと思う。

委員 私は成瀬小学校にした。まず、1点目は地名を生かしている。2点目は歴史的に成瀬学舎を呼称していた時期がある。なる小という略称も覚えやすいということで、成瀬小学校にした。

委員 私は南さくら小学校と書いた。前回成瀬小学校と南さくら小学校にしたと親に伝えると、成瀬学舎があったら成瀬小学校、南二小の名前を継承している感じでいいと思うとの話だった。ただ、子どもが絶対かわいいほうがいいと言っていたので、見た目のかわいいほうを選ばせていただいた。

会長 本日欠席の委員からもご意見をいただいていますので、事務局から紹介いただきたい。

新たな学校推進課 欠席の委員から意見をいただいた。まず1人目の委員からは成瀬さくら小学校と回答いただいた。理由はいただけてないが、前回の検討会で提案と同じため前回の発言を参考までに紹介をさせていただく。成瀬の象徴である桜や、さくらというのは平仮名にして、小学校1年生でも書けるところを意見されていた。

もう1名の委員からは、南第二小学校と回答いただいた。南第二小と南成瀬小の今までの経緯から、戻ることを継承していく意味合いや、歴史という部分をこれからも続けていくという視点から、推すのであれば南第二小にすると意見をいただいた。

会長 今後の議論を進めやすくホワイトボードを整理させていただく。

[ホワイトボード 整理]

会長 結果は、成瀬小学校が7名、成瀬さくら(桜)小学校が2名、南第二小学校が2名、南さくら小学校、恩田桜小学校、さくら小学校、さくら川小学校がそれぞれ1名となった。

全体を見て何かご意見いただきたい。全員で3案に絞りますので、意見を出し尽くしていただければと思う。

委員 3案に絞るということで、私個人としては、皆さんの意見を踏まえての代表としてここに来ているので、成瀬小学校は入れたい。また、新しい学校をつくるという意味で、南第二という名前を入れることは同意できない。

会長 2つ、ご意見をいただいた。成瀬は、ひとつあっていいのではないかというご意見だがいかがか。よろしければ拍手で決定したいと思う。

[拍手]

- 会長 オンライン出席の委員はいかがですか。
- 委員 (チャット) 賛成です。
- 会長 では、成瀬小学校は候補として確定します。
もう一つ、新しい学校名にしたほうがいいのか、南第二は同意できないというご意見があった。これに関していかがですか。
- 委員 私も同じ意見です。新しい学校をつくるというところでは、古い名前、前の名前は残さずに、新しい学校名を考えていくという方向で進めたらいいと思う。
- 委員 南第二小学校について、新しい学校の場所が同じことやアンケートの結果では地域の方の声は南第二小学校も上位にある。それも踏まえて、地域の方や卒業生の方の意見を代表して言っている。上位3つの候補でいいのではないかと思う。
- 委員 確かに地域の方や卒業生の意見はもちろん大切だと思うが、児童の中で旧校名を使うということはいさかいの元になってしまう可能性もある。新しくみんなで作って上げていくという意味で新しい学校名のほうが良いと思う。
- 会長 旧校名はないほうがいいのかという意見が多いが、他の委員はいかがでしょう。
- 委員 旧校名を使うか使わないか、一人一人に聞いていただきたい。
- 会長 これは大きなことなので、1人ずつ意見を言っていただければと思う。
- 委員 歴史から言えば、旧校名がいいと思う。また、新しい名前はとてもいいと思うが、どちらにするか今揺れている。桜もいいと思うが、この先100年200年、桜がずっと植え替えていけるのかなと思ったりもする。古い名前がいいか、新しい名前がいいか、半々なところ。ただ、歴史をもっと大切にしたい。
- 委員 南第二小にこだわる気持ちは分かるが、新しい学校を作ろうということで、旧校名は外して新しい名前にしたほうがいいのかと思う。
- 委員 私は子どもが5人いるので、南二小には長く通っているような気がする。愛着はあるが、実際に通う子どもたちにとっては、いさかいの元になるものは残したくない。新しい校名のほうが気持ちを切り替えられる。このまま南第二小という名前が残ってしまったら、私、多分大きな顔をすると思う。大人でもそういうところがあるので、子どもには仲よく学んでほしいので、新しい名前のほうがいいかなと思う。
- 委員 私も、新しい学校をつくるということで、子どもたちがどちらか一方の学校に入れてもらった、自分たちの学校の名前は残らなかったという思いがないように、新しい校名にしたほうが新しくスタートを切れるのではないかと思う。
- 委員 1つ質問だが、例えば南二小を除外する結論を出した上で、正式に3つ選定するのか。
- 会長 そうなる。

委員 この議論の中に南第二小が含まれていて、正式な議論の中で最終的に選ばれなかったというふうにはしてほしい。やはり愛着があり、いろんな理由があって南第二小という名前を提案いただいたということは重く受け止めるべき。先ほど私が恩田桜を選んだ一番大きな理由は、全く新しい、全く1つの漢字も重ならないというのが趣旨。南第二小学校も同様に検討し、その上で、残念ながら最終的には残らなかったというところだけは保証していただきたい。

新たな学校推進課 検討会での発言については、今までも全て議事要旨に載せている。検討の経過についても広報しながら、複数案について意見を頂戴したい。伝え方や見せ方の部分だと思うので、ご意見を受け止めながら今後も進めていきたい。

委員 前回の資料と照らし合わせると、児童の中での選ばれた上位3つが、成瀬小学校、南成瀬小学校、南さくら小学校で、4番目が南第二小学校。名前を残したいという子どもも多いというのはすごく感じた。ただ、他の委員と私も考え方は同じで、大人でもぎくしゃくしそうな問題だと思う。

新しいスタートを切るときに、町田市の中でも早い統合になるのでほかの学校でも同じトラブルは絶対起り得ると思う。新しい学校の統合というのは、どちらかが上とか、吸収ではないということを示すためにも、違う名前をつけることが、最初に動き出すグループとして適正ではないかというのを重視した。

それ以外の名前については、思いやこの地域のことを考えて出している案だと思うので、順位ではなくすてきなものを選べればいいと思う。

ただ、南第二小学校も、南成瀬小学校も、その思いがあることはしっかりと文書で出して、私たちも苦渋の判断、子どもたちに新しい未来をとということを全面的に出して、ポジティブな伝え方をしていただきたい。

委員 いさかいがあるから南第二小を外すという考えではなく、子どもたちにとっては、どちらも関係ないことだと思う。新たな、新しい学校へみんなで通うということから、結果として南第二小学校の名前を外してもよいと思う。

委員 南成瀬小学校の児童の心情を考えたときに、旧校名である南二小はふさわしくないと。吸収される印象を強く受ける。皆で新しい学校をつくっていくところで新しい校名をつけていただきたい。

委員 私たちは検討会に参加して新しい学校をつくるという気持ちになっているので、新しい学校名がいいとは思ったが、やはり地域の方に聞いてみたときに、南第二小ではなくなるのと言っている方が多く、地域への学校名を募集しますという告知が不十分だったこともある。地図とか交差点名が変わらずに済むというメリットもある。3つの中に残して、地域がどう思っているのかというのを聞いてみる点で残すのはいいと思う。

会長 地域の人はどう思っているか。地域にも聞いている。その上で、南第二小という名前は第2位、南成瀬も第3位という結果は出ている。それを候補として我々が残していくか意見をいただいた。

- 委員 3案の中に入れておいてもらいたいという気持ちは変わっていない。検討会に代表として来ている立場で、南第二小が2件あったことは皆様に伝えたい。新しい学校というタイトルの部分から、皆さんの意見は受け入れている。
- 委員 今話を聞いて、新しい学校名がいいとは思いますが、南第二小を残したら教育委員会はどうするのか。
- 会長 候補に残るということは、選ばれる可能性はある。
- 委員 先日のニュースで、統廃合する2つの学校で、第1位だった学校名と1票しかなかった学校名で意見が割れて、1票しか入らなかったほうに決めたことで問題になっているというニュースを見た。人ごとじゃないなと思って読んでいた。
- 委員 地域の方の思いは付箋に出ているとおりの候補に上がった。議論をしている中で、新しい学校名をとの意見が多数の委員より上がっている事実から、最終的に選定されなかった経緯は記録として残すべき。
- 委員 この検討会で私は伝えているので、どうやって3案に絞っていかうかというところであれば前に進むことができる。新しい学校だと皆さんが言っていることを分かっているので、絶対反対とは言っていない。
- 会長 いただいた意見も、それを記録として反映し残ることからよろしいか。
- 委員 良いです。
- 会長 では、地域住民の方の強い思いがあったことは記録として残した上で、旧校名については優先順位を低くするというところでよろしいか。では、成瀬さくら小学校、南さくら小学校、恩田桜小学校、さくら小学校、さくら川小学校、これらの中から2つを選んでいくということになるが意見をいただきたい。
- 委員 全てに共通するさくら小がいいと思う。平仮名で書きやすくいいと思う。
- 会長 共通項としてさくら小。漢字なのか全て平仮名なのかというのは絞らなくても構わない。ちなみに、桜小学校というのは調べる限り全国に5校あり、東京都世田谷区、神奈川県横須賀市、埼玉県三郷市、埼玉県坂戸市、福島県郡山市に桜小学校がある。
- 委員 さくら小だけにしてしまうと分かりにくいいため、成瀬さくら小学校のほうがいいと思う。地名の漢字とひらがなのさくらで、1年生は書きやすく、頭に成瀬がつくと差別化できると思う。
- 会長 手元の資料では全国で成瀬さくら小学校はない。
- 新たな学校推進課 参考に、横浜市瀬谷区には瀬谷さくら小学校がある。
- 委員 地域の名前を入れたいという思いがあるから成瀬さくらでもいいと思う。
- 委員 川も入れてほしい。
- 委員 地名とかではないが、南さくらの場合お互いの校名の南が入っているから公平だと思った。
- 会長 5つの候補の中でどれがいいか、付箋に書いていただきたい。
- 委員 3案程度なので、2案でもいいということか。
- 新たな学校推進課 検討会の皆様の総意で2案にするということであれば構わない。

会長 成瀬さくら（桜）、南さくら、恩田さくら、さくら、さくら川、この5つの中から1つ選んで付箋に書いていただきたい。

〔 ホワイトボードに付箋を貼付 〕

会長 成瀬さくら（桜）が9名、南さくらが2名、さくらが1名、さくら川が1名という結果になりました。成瀬さくらは多数ですが第2候補でよろしいか。よろしければ拍手をお願いします。

〔 拍手 〕

会長 ウェブ参加の方もよろしいでしょうか。

委員(チャット) 賛成です。

会長 では、全会一致で成瀬さくら（桜）小学校も第2候補とさせていただく。2つでもいいのではないかと意見があったが、事務局としては3案のほうがいいのか。

新たな学校推進課 2案でも構わない。今後、市民の皆様から意見を伺うときに、2案で伺うのか、3案で伺うのか考えていただき、検討会において2案でよいとの結論であれば構わない。

委員 最後は、議会で決定するというスケジュールだが、議会の様子を見ることができるのか。

新たな学校推進課 市議会は現地で傍聴していただける。また、インターネットでも配信している。

会長 議会で最終決定はするが、最終1案にするのは教育委員会で行うのか。

新たな学校推進課 教育委員会で1案を選定する。学校設置条例の改正手続が必要になるため、改正手続として市議会に諮ることになる。

会長 決定するのは最終的には議会だが、候補の中から1つ選ぶのは教育委員会の定例会か。それも公開はされているのか。

新たな学校推進課 定例会にも選定の報告をする。傍聴できる。

委員 代表者として最後まで見守ることをしたい。議会などの予定を知らせていただきたい。公平にやっているか精査したい。

新たな学校推進課 今後のスケジュールというところで、引き続き委員の皆様にお知らせをさせていただきます。

会長 次に多かった南さくら小学校や、さくら小学校、さくら川小学校もご意見あったが。

委員 このまま2案でいいと思う。1票だったところから選定するよりは、今の多数として絞った2案が良いと思う。

委員 2案でいいと思う。

委員 3案にするのであれば、桜の平仮名と漢字で3案にしたらどうか。

会長 成瀬さくら小の平仮名と、成瀬桜小の漢字、それで3案にするという意見だった。

- 委員 平仮名と漢字は今の時点ではどちらでもいいという話でいうと 2 案かと。
- 新たな学校推進課 多くの学校名の案から 3 案程度を選定することになるため大変な作業だと思っている。そのため、漢字が良いのか平仮名が良いのかという表記についてはこの場で決着させずに併記の形でも構わないという話をさせていただいていた。当然平仮名が良いのか、漢字が良いのかというのは最終的に決めなければならない。そういう意味では、皆さんの意見の中で漢字なのか平仮名なのかというのを 3 案の中に入れて、市民の皆さんに伺うというのも手だと思う。
- 会長 漢字と平仮名と、それぞれを市民の皆さんに問うということによろしいか。よろしければ拍手でご承認いただければと思います。

[拍手]

- 会長 ウェブ参加のお二人はいかがでしょう。
- 委員(チャット) 了解です。
- 会長 では、第 1 案として成瀬小学校、第 2 案として成瀬さくら小学校、第 3 案として成瀬桜小学校。この 3 案ということによろしければ拍手をお願いいたします。

[拍手]

- 会長 本検討会において選定した 3 案を、市民への広報及び最終的な学校名の決定は皆様のご意見を十分に検討していただきまして、今後については事務局に委ねる。

新たな学校推進課 (今後のスケジュール説明)

6 第 9 回基本計画検討会 開催概要

新たな学校推進課 2022 年 10 月 17 日(月曜日) 9 時 30 分～ 南成瀬小学校

7 閉会

会長 (挨拶)